



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和8年9月28日

豊玉中学校だより No. 39

【E-mail】 matsushita.yoko2@nerima-tky.ed.jp

【URL】 <https://www.nerima-tky.ed.jp/toyotama-j/>

夏休みが終わってから約1か月が過ぎ、校内にはいつもの落ち着いた雰囲気が戻ってきました。今年は暑さがほどほどで過ごしやすい一方、雨の日が多く、各地で被害のニュースが続くなど、胸の痛む場面もありました。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧を願うばかりです。この先も気候の不安定さが続くと言われており、気温差の大きい日が増えるとされています。心身の調子を崩しやすい時期でもありますので、体調管理に留意しながらお過ごしください。



今月は、生徒が相手とのやり取りを通して、考えを確かめ合い共有する場面が多く見られました。ハートフルウィークでは、安心して気持ちを言葉にする姿が多く見られ、穏やかな雰囲気の中で過ごすことができました。続く3年生の修学旅行では、仲間と声をかけ合いながら行程を進める姿や、見聞きたことを自分の言葉で整理しようとする様子が印象的でした。生徒会役員選挙では、今年度初めて公開討論会を実施し、立候補者が自分の考えを丁寧に伝え、聞く側も静かに受け止める姿が見られました。立会演説会を経て投票に臨む流れの中で、生徒たちの当事者意識が一層高まったように感じます。先週には5連休もあり、家庭や地域でゆっくり過ごせたでしょうか。

明日から定期考査が始まります。夏休みに積み重ねてきた力を出し切る場となりますので、ぜひご家庭でも落ち着いて取り組めるよう声をかけていただければと思います。2年生は職場体験を控えており、地域の方々との関わりを通して新しい視点を獲得する期間となります。学校全体では文化発表会の準備が進んでいます。今年度は、1年生から3年生までが学年の枠を越えて歌う縦割り学級合唱に取り組めます。異なる学年が一つの歌を創り上げるまでの努力と成長の成果を、本番の歌声とともに見届けたいと思います。土曜公開や公開週間も予定しており、生徒たちの様子を実際にご覧いただければ幸いです。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和8年9月1日 2学期始業式 ～ 校長講話より ～

おはようございます。45日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。皆さんの元気な姿に再び会えたことを、心からうれしく感じています。

夏休み前の終業式で、「自分が自分の号令者となる」「心のチャイムを鳴らす」「自分の頭で考える時間をもつ」「家や地域のことに積極的に関わる」という4つのことを伝えました。この4つを少しでも意識して過ごせた人はどれくらいいるでしょうか。うまくできたと感じる人も、思うようにできなかった人もいるでしょう。大切なのは、意識して過ごそうとした「その姿勢」です。できたことは自分の自信にし、できなかったことは「次はどうするか」を夢手帳で整理して、2学期の生活に生かしていきましょう。

さて、この夏休み、皆さんはどんな出来事が印象に残っているでしょうか。私の心に強く残ったのは、地震や大雨に関わる出来事でした。

夏休みに入ってまもない7月28日には、熊本で大きな地震が起こりました。また8月13日には、関東でも記録的な大雨となり、練馬区に「レベル4大雨危険警報」が発表されました。低い土地の浸水や川の氾濫の危険性が非常に高まっているときに発される警報です。さらに8月22日に

も練馬区で再び「レベル4大雨危険警報」が発表され、同じ日の夜には関東で大きな揺れを感じる地震もありました。実際にあの日、家や外で不安な思いをしたり、周りの大人が慌ただしく情報を確認していたりする様子を見た人も多かったはずです。「自分たちが住む地域でも、こうした災害が起きてもおかしくないのだ」と、改めて考えさせられた出来事でした。今日、9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。そこでこの時期に合わせて、改めて「備え」について考えてみたいと思います。

私は今年も青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンターに参加しましたが、その中で小学1年生の時に東日本大震災を体験された職員の方から直接お話を聴く機会がありました。津波が刻一刻と迫る中で何を考え、どう行動したか、そして何を守ろうとしたか。想像するだけでは分からない、その場で実際に体験した方だからこそ語れる重みのある言葉でした。その話を聴き、今こうして当たり前のように登校し、皆さんと会えていることが、決して当たり前ではないのだと、強く感じました。どれほどありがたいことなのかを深く実感しました。

それと同時に私の頭に浮かんできたのは、豊玉中の皆さんがこれまで積み重ねてきた姿でした。皆さんは日ごろから「先見の時間」を通して、先を見通す力を大切にしてきました。号令やチャイムがなくても、今何をすべきかを自分で判断し、行動してきました。掲示板を見て、自分に必要な情報を自分から取りに行く姿も定着してきました。これらは、単に日々の学校生活をスムーズにするためだけのものではありません。災害などの「いざ」という緊急時、誰かの指示を待っている命を守れない場面があります。自分で気づき、自分で考え、自分で判断して行動する。皆さんが1学期に積み重ねてきたその力は、そのまま「いざ」というときに自分や周りの命を守る力にもなるのです。

そして、もう一つ伝えたいことがあります。皆さんは、災害が起きたときにただ単に「助けてもらう」だけの存在ではありません。地域の一員として、避難所の運営に関わることができる、大切な「マンパワー」になり得る存在なのです。学校が避難所になった際、小さな子どもに声をかけて安心させたり、荷物を運んだり、困っている人に気づいて動いたりすることができます。校内や周辺の道を案内することもできます。それは、1学期に皆さんが運動会で見せてくれた「自分で動く」姿、そのものです。あの光景を思い出すと、豊玉中生ならきっとできると、確信できます。これからの避難訓練では、そのようなことも意識して取り組んでみてください。

ただし、「自分で動く」ということは、何でも一人で抱え込むということではありません。限界を感じたとき、もう無理と思ったとき、困ったときに助けを求めることも、同じくらい大切な力です。明日からはハートフルウィークも始まります。悩みや不安があるときは、一人で抱え込まず、先生や周りの信頼できる人に話をしてください。

今日から始まる2学期は、行事も学習も一人ひとりが力を伸ばしていく大切な時期です。

3年生は、まもなく修学旅行があります。豊玉中で学んできたことを生かし、仲間と共に自分たちの力でつくる旅行にしてください。そして、これから本格化していく進路実現に向けても、自分でよく考え、自分で決めて、着実に歩みを進めていってほしいと願っています。

2年生は、職場体験が控えています。豊玉中の職場体験は、福祉に関わる施設で行います。働くということの実際を知るだけでなく、支援を必要としている方々と関わり、共に支え合って生きるこの意味について、自分の目で見て、感じて、深く考える貴重な機会にしてください。

1年生は、中学校生活にも少しずつ慣れてきた頃だと思います。2学期は、自分のもっている力を発揮していく時期です。焦らず、一步一步進んでいきましょう。

本日の話は「備え」についてでした。2学期も、豊玉中生らしく、自分で気づき、考え、実行する皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。以上で、私の話を終わります。

★防災について考える★

9月12日(土)1,2年生は、練馬区一斉防災訓練の一環として、災害が起きた際に感じる「避難所でのストレス」と「避難所で中学生ができること」について考えました。避難所のストレスとして生徒から挙げたのは、プライバシー保護、音やにおい、過密による衛生面の問題などでした。「中学生ができること」としては、物資を配ったり補給したりすること、また小さい子たちのお世話という意見も出て、災害時の「中学生として果たせる役割」について考える良い機会となりました。



★生徒会役員選挙と公開討論会★

2年生から3人、1年生から7人が役員に立候補し、熱のこもった選挙活動を行ってきました。9月18日(金)には、立会演説会を行いました。立候補者、応援者、真摯な気持ちで話を聞く投票者、選挙管理委員と、全員の力が結実した立派な立会演説会でした。当日の投開票の結果、新たな役員が決まりました。豊玉中に通う人全員が生徒会会員です。引き続き、全会員で良い学校を作っていきましょう。

また、新たな試みとして、16日(水)の放課後、公開討論会を実施しました。こちらも選挙管理委員会の運営で、立候補者が事前に示されたテーマで討論しました。放課後にも関わらず、50人程が立候補者の発言を会場に聴きにきました。誰に投票するかの参考になる1時間でした。



★3年間の集大成 in 京都・奈良★

9月12日(土)から、3年生は修学旅行へ行ってきました。1年次の校外学習から学び続けてきた全て、積み重ねてきた力を駆使し、全班が東京を遠く離れた地で、無事、計画通りに行動しました。行動中には連絡用携帯電話を利用し、小さいことでも報告・連絡・相談できていました。3年生の成長をしっかりと目にするのできる2泊3日でした。



◆ボランティア活動でも活躍しています!!◆

9月26日(土)・27日(日)に実施された地域行事で20人を超える生徒がボランティアとして活動しました。写真は説明会の時の風景です。8年ぶりに豊玉地区で実施された氷川神社例大祭。「世代を超えた豊玉地区の底力」が感じられる2日間でした。